

四万十川の“維持管理の取組”について

< 国土交通省 中村河川国道事務所 > SIMAS 2nd

“SIMAS” since 2012
四万十川 守る 安全を！
(shimantoriver management system)

☆施設の長寿命化対策

堤防の空洞調査



涵体の亀裂調査



☆施設の特別点検



涵体接続部の剥離



補修完了



☆施設の維持補修



補修状況

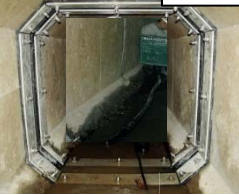
樋門の目地部の亀裂



補修状況



補修完了



1. 今、起きていること

《施設（水門や樋門）の“老朽化”》

- 約7割が30年以上経過
- 約4割が40年以上経過

2. こんな問題が発生！

- 更新や補修に多額の予算が必要。
- 突然の使えなくなるおそれ。
- 安全、安心が脅かされる。

3. どうして行けば良いのか！？

- 少ない予算で少しでも長持ちさせる。
- 重要度の高いモノから優先して直していく。
- 効率・効果的に直していく。
- 直すタイミング、長く使える技術の開発。

4. 今、やっていること！

- 特別点検
(集中的に専門家による主要施設の調査)
- 長寿命化対策
(できるだけお金をかけずに長持ちさせる)

●これからの維持管理は！

- ☆河川管理施設の長寿命化計画を作成する。
- ☆設備の信頼性を確保しながら長寿命化を図る。
- 結果的に長期的なコストの縮減を図る。

“時間計画保全” (定期的に！)

- 重要な機器で劣化がわかり難い機器
- 定期的に交換



エンジンの整備



ポンプ内部の状況

“状態監視保全” (状態を見ながら！)

- 重要な機器で劣化が目で見える機器
- 状態を診ながら修理、交換する。

ゲートの点検



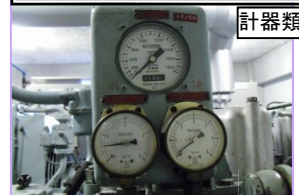
ゲート巻上ワイヤー



“事後保全” (使えなくなったら！)

- 壊れても被害に直結しない機器
- 可能な限り長く使用する。

発電機



計器類



☆ “確実な維持管理体制” の確保！

- ・技術者・技術力の持続を図る。
- ・技術向上のための研修・講習会を実施する。

操作方法の習得



施設の勉強会

